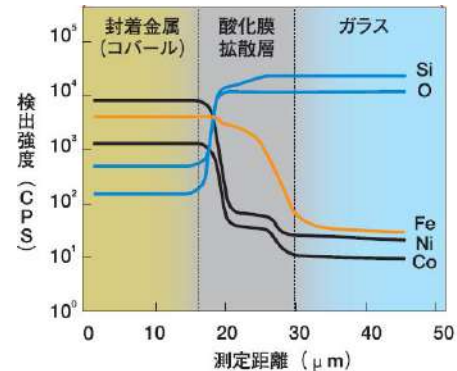


### ■ GTMS技術

GTMSとは、GlassとMetalの中間に酸化膜拡散層を形成し、化学的に結合させる技術です。

#### ダイレクトシールのメカニズム

ガラスと金属との気密封着において高い信頼性を得るためには、金属の酸化膜制御及びその拡散制御が重要な鍵となります。弊社のGTMSでは、封着合金の酸化膜をガラス側へ拡散させて金属とガラスをつなぐ層（酸化膜拡散層）を作り出し、化学的に結合させることで高气密・高信頼性を実現しています。



### ■ ガラス加工技術

受け継がれる熟練の技。一つひとつ手作業で高品質のガラス加工部品を作り上げます。

#### 熟練の職人によるガラス加工

山村フォトニクスでは、管引き成型、プレス成型、吹き型成型など、技術者の高い加工技術が要求されるガラス加工製品を提供しています。工場内にはガラス溶解用のルツボ窯を保有し、各製品に最適なガラスを多種溶解しております。近年では手作業によるガラス加工を行うメーカーが減少しておりますが、弊社では軟質ガラスから硬質ガラス、さらには特殊ガラスまでの開発検討が可能です。豊富な経験に基づく山村フォトニクスの職人技で、お客様のご要望を実現いたします。



お問い合わせは…  
 新製品開発部  
 〒224-0053 神奈川県横浜市都筑区池辺町 4207  
 TEL(045)930-1816 FAX (045)930-1820  
 URL : <http://www.yama-ph.co.jp> (お問合せフォーム)

本製品情報は予告なしに変更する場合があります。

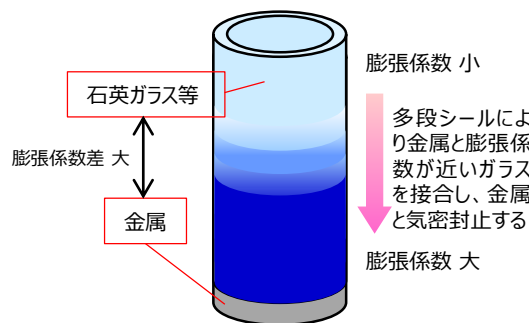
### ■ 段シール加工技術

ガラスの多段接合により、膨張係数差のある金属とガラスの接合を実現します。

#### 段シールのメカニズム

膨張係数差が大きいガラスと金属を接合しようとする場合、接合部に応力が発生してクラック等の不具合の原因となるため、一般的に信頼性の高い接合にはなりません。

段シール加工技術では、膨張係数の違うガラスを多段接合し、接合部分のガラスと金属の膨張係数を近づけることで、通常では膨張係数差が大きく接合できない石英や硬質ガラス等と金属の気密接合を可能としました。弊社の段シール加工技術は、光電子倍增管、高出カランプ、その他電子管用途等で採用されています。



お問い合わせは…  
 新製品開発部  
 〒224-0053 神奈川県横浜市都筑区池辺町 4207  
 TEL(045)930-1816 FAX (045)930-1820  
 URL : <http://www.yama-ph.co.jp> (お問合せフォーム)

本製品情報は予告なしに変更する場合があります。